

## 滋賀県の産業振興についてのアンケート結果

県では、「滋賀県産業振興ビジョン」（平成27年3月策定）に基づき、産業振興施策を進めているところです。

このたび今後の産業振興施策に活かしていくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成28年11月

★対象者：県政モニター395人

★回答数：331人（回収率83.8%）

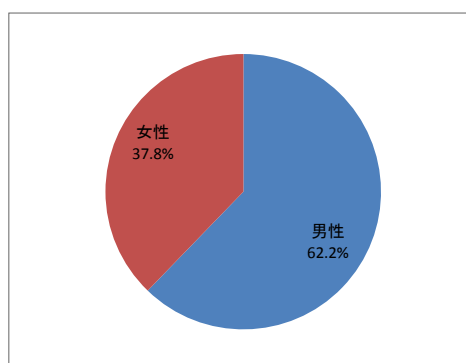
★担当課：商工観光労働部 商工政策課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

### 【属性】

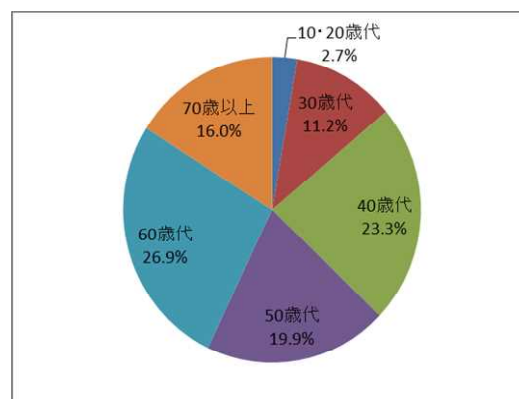
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	206	62.2%
女性	125	37.8%
合計	331	100.0%



#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	9	2.7%
30歳代	37	11.2%
40歳代	77	23.3%
50歳代	66	19.9%
60歳代	89	26.9%
70歳以上	53	16.0%
合計	331	100.0%



#### ◆地域

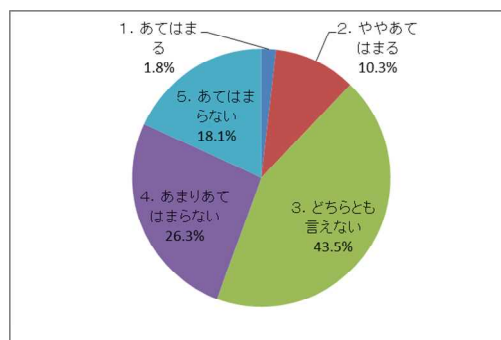
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	98	29.6%
湖南地域	94	28.4%
甲賀地域	25	7.6%
東近江地域	55	16.6%
湖東地域	28	8.5%
湖北地域	20	6.0%
湖西地域	11	3.3%
合計	331	100.0%



【問1】 あなたご自身の暮らし向きについてお尋ねします。  
 次の（1）～（3）の項目について、あてはまるものをお選びください。

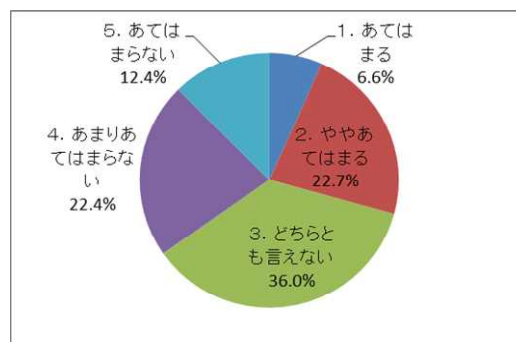
【問1】（1） 1年前と比べて、自分の世帯の暮らし向きは良くなってきた。（回答チェックは1つだけ。 n=331）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	6	1.8%
2. ややあてはまる	34	10.3%
3. どちらとも言えない	144	43.5%
4. あまりあてはまらない	87	26.3%
5. あてはまらない	60	18.1%
合計	331	100.0%



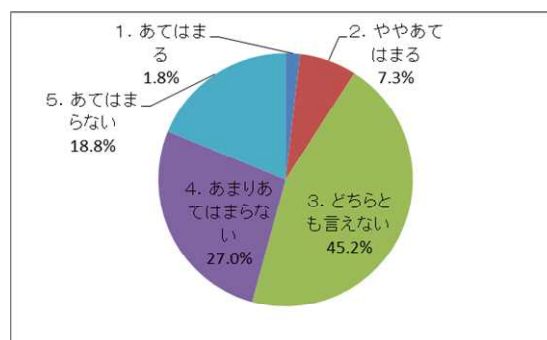
【問1】（2） 現在の自分の世帯の暮らし向きは良い。（回答チェックは1つだけ。 n=331）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	22	6.6%
2. ややあてはまる	75	22.7%
3. どちらとも言えない	119	36.0%
4. あまりあてはまらない	74	22.4%
5. あてはまらない	41	12.4%
合計	331	100.0%



【問1】（3） 1年後の自分の世帯の暮らし向きは、現在に比べて良くなりそう。（回答チェックは1つだけ。 n=330）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	6	1.8%
2. ややあてはまる	24	7.3%
3. どちらとも言えない	149	45.2%
4. あまりあてはまらない	89	27.0%
5. あてはまらない	62	18.8%
合計	330	100.0%

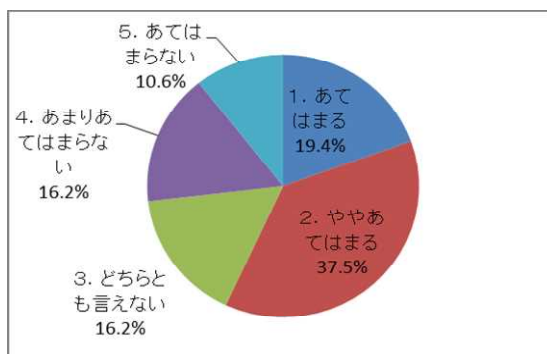


【問2】 就労されている方にお尋ねします。

次の(1)～(5)の項目について、あてはまるものをお選びください。

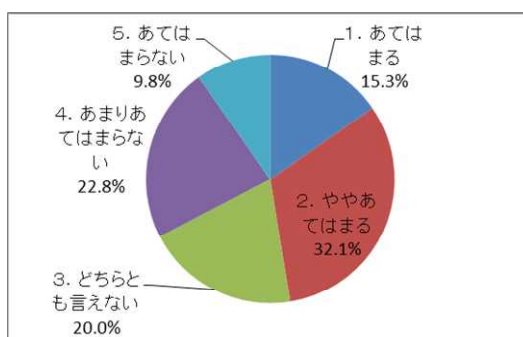
【問2】(1) 自分の仕事にやりがいや充実感を感じている。(回答チェックは1つだけ。  
n=216)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	42	19.4%
2. ややあてはまる	81	37.5%
3. どちらとも言えない	35	16.2%
4. あまりあてはまらない	35	16.2%
5. あてはまらない	23	10.6%
合計	216	100.0%



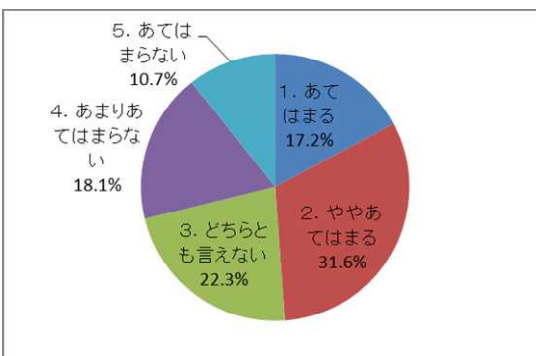
【問2】(2) 仕事と生活のバランスが取れている。(回答チェックは1つだけ。 n=215)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	33	15.3%
2. ややあてはまる	69	32.1%
3. どちらとも言えない	43	20.0%
4. あまりあてはまらない	49	22.8%
5. あてはまらない	21	9.8%
合計	215	100.0%



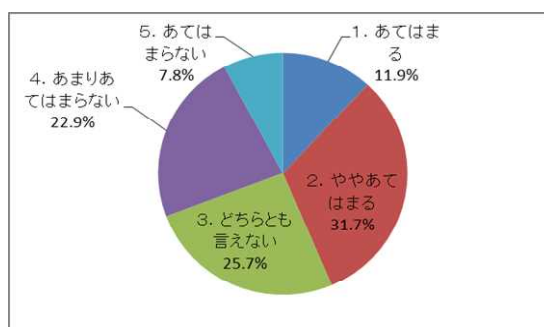
【問2】(3) 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の技術や能力などが発揮できている。(回答チェックは1つだけ。 n=215)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	37	17.2%
2. ややあてはまる	68	31.6%
3. どちらとも言えない	48	22.3%
4. あまりあてはまらない	39	18.1%
5. あてはまらない	23	10.7%
合計	215	100.0%



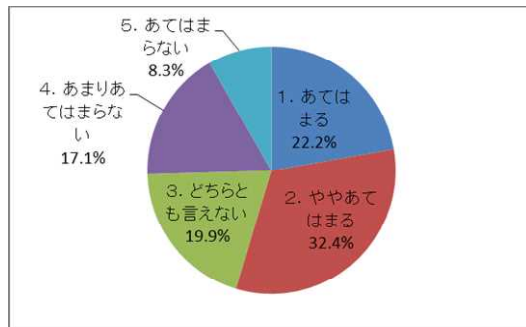
【問2】(4) 仕事をはじめ社会的な生活を通じて、自分の技術や能力などが高まっている。(回答チェックは1つだけ。 n=218)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	26	11.9%
2. ややあてはまる	69	31.7%
3. どちらとも言えない	56	25.7%
4. あまりあてはまらない	50	22.9%
5. あてはまらない	17	7.8%
合計	218	100.0%



【問2】(5) 仕事や就業に役立てるための学びや自己啓発を行っている。(回答チェックは1つだけ。 n=216)

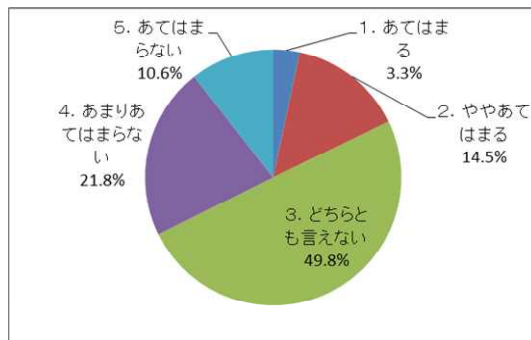
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	48	22.2%
2. ややあてはまる	70	32.4%
3. どちらとも言えない	43	19.9%
4. あまりあてはまらない	37	17.1%
5. あてはまらない	18	8.3%
合計	216	100.0%



【問3】 お住まいの市・町での労働環境について、お尋ねします。  
次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

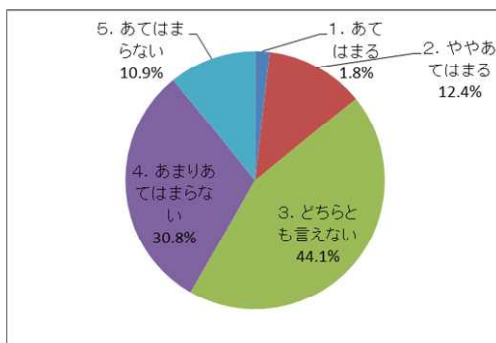
【問3】(1) お住まいの市・町では、働く意欲がある人たちの雇用が確保されている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	11	3.3%
2. ややあてはまる	48	14.5%
3. どちらとも言えない	165	49.8%
4. あまりあてはまらない	72	21.8%
5. あてはまらない	35	10.6%
合計	331	100.0%



【問3】(2) お住まいの市・町では、年齢や性別にかかわらず、働きやすい環境が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

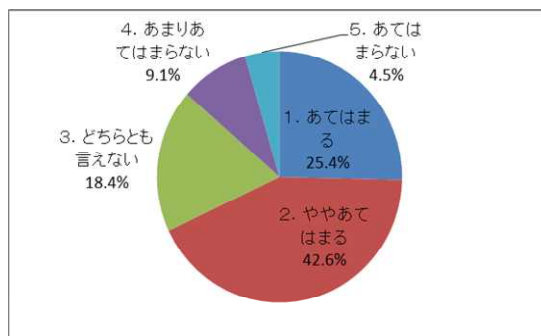
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	6	1.8%
2. ややあてはまる	41	12.4%
3. どちらとも言えない	146	44.1%
4. あまりあてはまらない	102	30.8%
5. あてはまらない	36	10.9%
合計	331	100.0%



【問4】 県内やお住まいの市・町の自然、歴史・文化、観光について、お尋ねします。  
次の（１）～（７）の項目について、あてはまるものをお選びください。

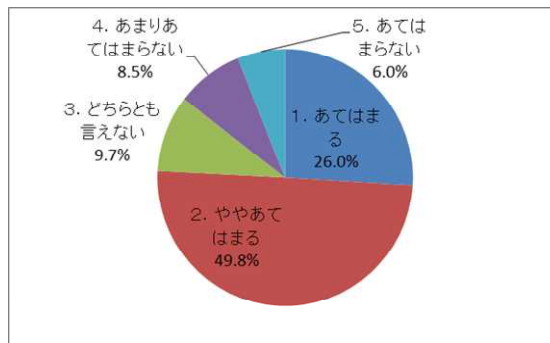
【問4】（１）お住まいの市・町に誇りや愛着を感じる。（回答チェックは1つだけ。  
n=331）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	84	25.4%
2. ややあてはまる	141	42.6%
3. どちらとも言えない	61	18.4%
4. あまりあてはまらない	30	9.1%
5. あてはまらない	15	4.5%
合計	331	100.0%



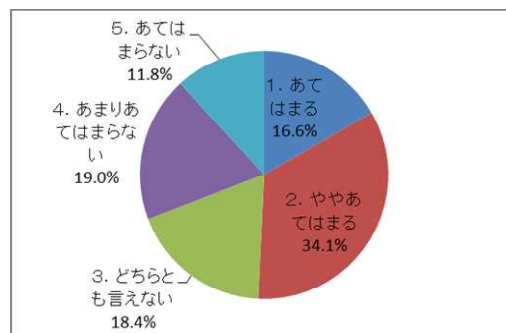
【問4】（２）県内の自然・歴史・文化的なスポットを訪れている。（回答チェックは1つだけ。 n=331）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	86	26.0%
2. ややあてはまる	165	49.8%
3. どちらとも言えない	32	9.7%
4. あまりあてはまらない	28	8.5%
5. あてはまらない	20	6.0%
合計	331	100.0%



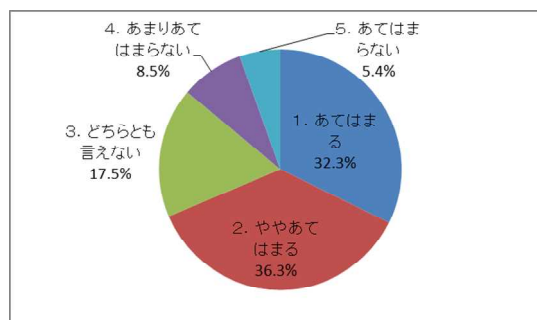
【問4】（３）県内の自然・歴史・文化的なスポットについて、県外の人にその良さを広めている。（回答チェックは1つだけ。 n=331）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	55	16.6%
2. ややあてはまる	113	34.1%
3. どちらとも言えない	61	18.4%
4. あまりあてはまらない	63	19.0%
5. あてはまらない	39	11.8%
合計	331	100.0%



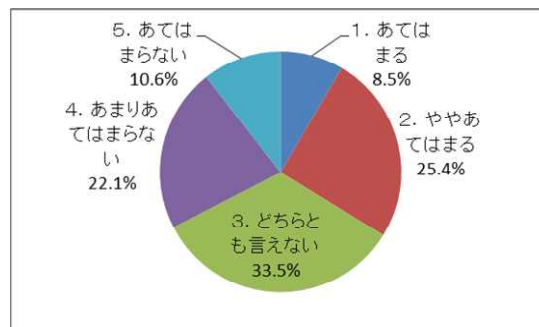
【問4】（４）お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」（自然資源、歴史・文化資源、伝統産業など）がある。（回答チェックは1つだけ。 n=331）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	107	32.3%
2. ややあてはまる	120	36.3%
3. どちらとも言えない	58	17.5%
4. あまりあてはまらない	28	8.5%
5. あてはまらない	18	5.4%
合計	331	100.0%



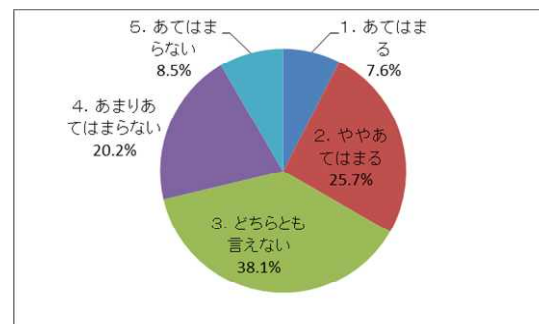
【問4】(5) お住まいの市・町では、これらの「宝」やスポットが産業振興に活かされている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	28	8.5%
2. ややあてはまる	84	25.4%
3. どちらとも言えない	111	33.5%
4. あまりあてはまらない	73	22.1%
5. あてはまらない	35	10.6%
合計	331	100.0%



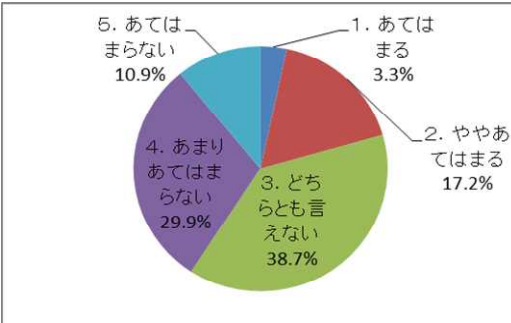
【問4】(6) お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	25	7.6%
2. ややあてはまる	85	25.7%
3. どちらとも言えない	126	38.1%
4. あまりあてはまらない	67	20.2%
5. あてはまらない	28	8.5%
合計	331	100.0%



【問4】(7) お住まいの市・町では、訪問客を受入れる体制が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

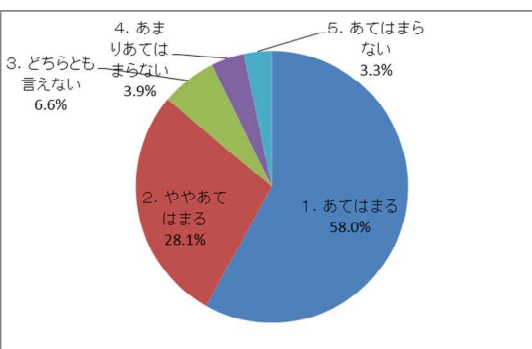
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	11	3.3%
2. ややあてはまる	57	17.2%
3. どちらとも言えない	128	38.7%
4. あまりあてはまらない	99	29.9%
5. あてはまらない	36	10.9%
合計	331	100.0%



【問5】 お住まいの市・町の生活環境について、お尋ねします。  
次の(1)～(6)の項目について、あてはまるものをお選びください。

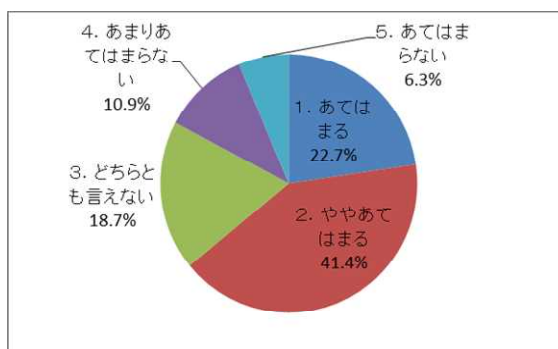
【問5】(1) 食品や日用品の購入は、地元の商店街やスーパーを利用している。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	192	58.0%
2. ややあてはまる	93	28.1%
3. どちらとも言えない	22	6.6%
4. あまりあてはまらない	13	3.9%
5. あてはまらない	11	3.3%
合計	331	100.0%



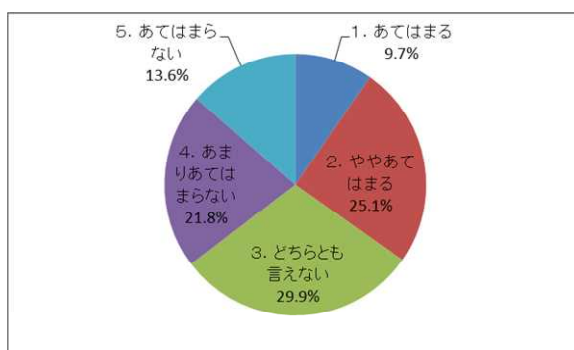
【問5】(2) お住まいの市・町や県内でとれたものを意識して買っている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	75	22.7%
2. ややあてはまる	137	41.4%
3. どちらとも言えない	62	18.7%
4. あまりあてはまらない	36	10.9%
5. あてはまらない	21	6.3%
合計	331	100.0%



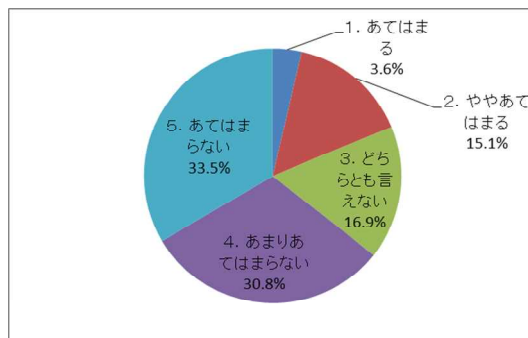
【問5】(3) 遊びやレクリエーションは、主にお住まいの市・町内で行っている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	32	9.7%
2. ややあてはまる	83	25.1%
3. どちらとも言えない	99	29.9%
4. あまりあてはまらない	72	21.8%
5. あてはまらない	45	13.6%
合計	331	100.0%



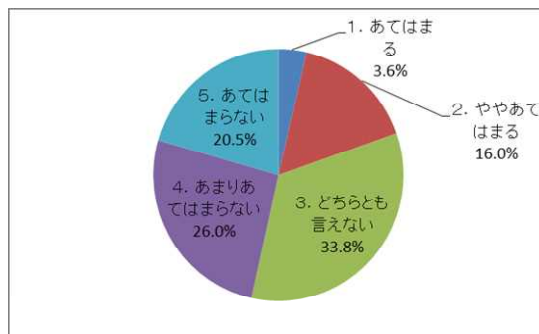
【問5】(4) お住まいの市・町の駅前や商店街には活気がある。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	12	3.6%
2. ややあてはまる	50	15.1%
3. どちらとも言えない	56	16.9%
4. あまりあてはまらない	102	30.8%
5. あてはまらない	111	33.5%
合計	331	100.0%



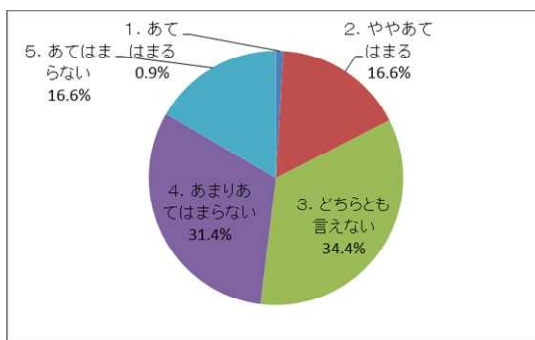
【問5】(5) お住まいの市・町には、学びや自己啓発を行うことができる場所が充実している。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	12	3.6%
2. ややあてはまる	53	16.0%
3. どちらとも言えない	112	33.8%
4. あまりあてはまらない	86	26.0%
5. あてはまらない	68	20.5%
合計	331	100.0%



【問5】(6) お住まいの市・町には、地元の産品を取り扱ったり、介護や子育てなど地域の課題を解決してくれる企業が充実している。(回答チェックは1つだけ。n=331)

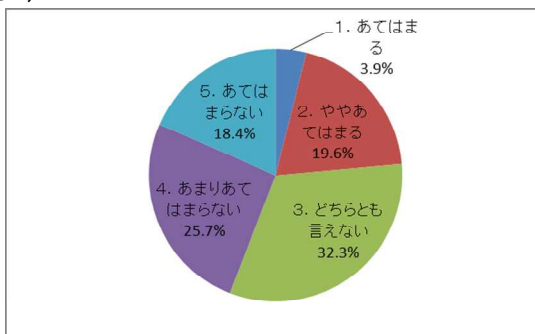
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	3	0.9%
2. ややあてはまる	55	16.6%
3. どちらとも言えない	114	34.4%
4. あまりあてはまらない	104	31.4%
5. あてはまらない	55	16.6%
合計	331	100.0%



【問6】 お住まいの市・町の、”新しいものを生み出す力”について、お尋ねします。次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

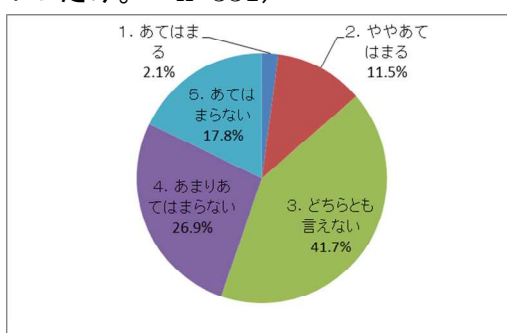
【問6】(1) あなたご自身やお勤め先には、新しい事業や新しい商品・サービスのアイデアがある。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	13	3.9%
2. ややあてはまる	65	19.6%
3. どちらとも言えない	107	32.3%
4. あまりあてはまらない	85	25.7%
5. あてはまらない	61	18.4%
合計	331	100.0%



【問6】(2) お住まいの市・町では、新しい事業を始めたり、新しい商品・サービスを生みやすい環境が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=331)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	7	2.1%
2. ややあてはまる	38	11.5%
3. どちらとも言えない	138	41.7%
4. あまりあてはまらない	89	26.9%
5. あてはまらない	59	17.8%
合計	331	100.0%





【問7】産業振興施策について、ご意見がありましたらお聞かせください。（抜粋）

・産業の振興は、ないところから生み出すよりもあるところから生み出す方が良いと思います。そのためには地域をよく知り地域の活力が発揮できる手がかりを見つけていくことだと思います。地元の方は当たり前すぎて逆に気がつかないことがしばしばあるので、外部の人から指摘してもらえらる仕組みを作れないかと思っています。

・アメリカの大統領選を受け TPP の先行きは不透明だが、日本にさらに不利な条件での締結もありうるので、世界情勢がどうなろうと県内の産業が立ち行くよう、貨幣経済にこだわらず、資源、労働力、生産物・サービスが循環・再生産される社会モデルを構築すべきだと思う。

・草津や米原の SOHO オフィスは良い施設だと思います。大津の産業支援プラザも含め、創業を考えた時期には使いたいなと思っていました。湖西などの少し利便性の高いところにも設置して、創業を促せばいかがでしょうか。徳島のように郡部の過疎地に高速インターネットのインフラ等で、移動の必要のない産業の振興を図ってはどうか。産業支援プラザでされている創業支援や高齢者の転職支援など、産業振興には良い試みだと思っています。

・昔活気があった商店街は今シャッター商店街になってしまっており、観光で来られた方が散策するにはキャスルロードくらいしかなくて、それも歩けばすぐに回れてしまうし、夕方店が閉まるのもとても早くて夏などは観光の方が手持ち無沙汰に歩かれているのを見ます。もう少し観光に力をいれるのなら、歩いて回れる場所にもっと店を誘致するなどの努力が必要だと思います。

・高齢化が進む今、少子化を補うには（人間の年齢が過去の実年齢の－10歳ともいわれているので）できるだけ中高年の人材利用できる場があればと思います。滋賀県は田舎ですが、教育に力を入れ、独自の雇用を生み出せば都会に誇れる街になると信じています。

・行政の合併後、商工会、観光協会等合併して運営されているが、地域が広すぎて以前のような活気が低下している感じがする。産業振興とは、地域の活性化によってもたらされるものと考えます。高齢化が進むにつれ、その力を活かした取り組みが振興策につながると考えます。

・滋賀県に生まれ育ち、今後も滋賀県を離れないと思います。滋賀県、そして住んでいる市には誇れる場所がたくさんあります。しかし、観光客が少ないのはなぜでしょうか？訪問客を受け入れる体制が進んでいないのではないのでしょうか？滋賀県は住みやすいところだと思います。人口も増えており、ベッドタウン化が進んでいます。だけど、遊びに行くのも仕事をするのも他県に向かう人が多数います。私の仕事は専門職ですが、滋賀県で働きたくても、働けるチャンスがあまりありません。ある程度、人口が増えてきたら、ただの住処としてだけでなく、他の要求も満たせるような街づくりが必要だと思います。

・今後の産業振興としては、農業・林業に注力が必要だと思います。諸々の事情があるのですが、荒れ放題の農地が多いように思います。また、山林も同じような状況が多いように聞き及びます。洪水・土砂崩れの危険にも繋がるのではないのでしょうか。

・主要道路の整備、鉄道関係の駅の誘致、バス路線の拡充などの基盤整備と鉄道沿線に近い住宅地の開発などが重要と思う。住居地のバス路線も乗客が減りつつあるということで減便が続き、最終バスの時間が早くなったり便利が悪くなる一方であり、バス会社系列の住宅開発とかあまり目にしないので促進してはと思う。もっとも、会社や工場の誘致は、さらに必要ではなかろうか。高齢者の交通事故が多発していることから、今後、高齢化が進むにつれて、地域のバス路線などは重要になってくるのではなかろうか。

・滋賀県には、家電や自動車を始め、大企業から中小企業まで有力な企業が多い。しかし、これらの企業が地域振興に積極的に動いているかという点、甚だ疑問（私は現在は年金生活者であるが、かつて家電メーカーに勤務した経験から感じて）。地域振興に関して、企業間の横の連携が、例えばプロジェクト的に何かあるのだろうか？他府県の優れた事例や、欧米の事例なども積極的に調査し、その内容を県民に公開するとともに、企業群の地域振興への寄与の成果が見えるようにすべき。そうすると、市民からの要望や期待の声が高まる。

・企業と大学が協同で色々な試みをする事は、地域の活性化のみならず滋賀県全体の利益につながっていると考えています。私は住まいに隣接する大津市の大学に勤務しておりますが、居住地の草津市の大学と同様、活発に企業や地元との連携をとられていることが、地域だけでなく学生にとっても大きな意味合いがあるように感じられます。滋賀県はとてもいいことをしておられると思います。これからも働きかけをお願いしたいです。

・県内の若者の人口が増えれば、あらゆる面で良い方向に進むと思うけど、高齢者ばかりではどうしようもない。企業誘致、近県の学生誘致、他府県からの移住促進、などとにかく大都市圏に流れる人口を取り込む政策を希望します。

・滋賀には滋賀の良さが多くあるが、それらはあまり知られていないように思う。たとえば、商いの基本は近江商人から来ていることや、日常着る肌着の生地類は、多く滋賀で作られていることなど多くある。それらをうまく、発信していければ、もっと人も増えるのではないだろうか。個人的には、今まで京都へ仕事に行っていたが、滋賀で何かできることはないかと考え、探しているところである。

・日本語教室ボランティアをしています。立命館大学などの留学生も増えて、賑わっています。工場実習生も多く、若い世代の外国人が多いです。そんな彼らをもてなせるような施設を作れたらなあと思います。町屋や商店街の空き家を利用して、地域の方々とも気軽に触れ合えるカフェとかやってみたいです。

・私は自営業なので就労状況は分かりませんが、65歳以上の高齢者の仕事が増えてほしいと思います。現状見えるのは『シルバー人材センター』ぐらいですが、もっと増えると良いと思います。高齢者が自由時間を楽しむのは良いのですが、まだ社会貢献や多少のお金を得たい方も多く居ると思います。

・産業振興に積極的には感じません。企業（主に興行）の誘致ではなく、産学官一体による滋賀県発の新しい産業育成に努めては如何でしょうか。また、ベンチャー企業への出資による企業創出、産業振興に積極的な施政は如何でしょうか。しかし、いずれの場合も結果の管理と公表が重要と思います。出資に対する（職員専任体制等の間接的費用も含めて）リターンを公表すべきと考えます。ダムを造りましたがその後の効果はフォローしていません、このような旧態依然では振興はできません。資金投入を管理する職員や団体、その受給団体等の成果確認が重要だと考えます。

・イノベーションが必要だと思うが、そんなに簡単には起こせるものではないと思う。特に滋賀県のような役所がかかわって起こすことはまず無理だと思う。公的機関はむしろ、失敗の場を提供し、既存の組織や法律を駆使して、失敗した後の就労を斡旋したり、職業訓練をすることにあると思う。iPhoneのような新しい価値を創造しないと、iPhoneをまねたスマホを作るだけでは、現代の日本人の仕事は確保できないと思う。そのためには、アップルのジョブスのように、一度はアップルを首になり、その後、作ったNeXTコンピューターもこけても、何回もチャレンジできるような支援をすることが必要で、公的機関はそこにフォーカスを合わせるべきだと思う。

・産業振興の基盤は、びわ湖を最大限に生かすこと。と思います。びわ湖の価値をあまり意識されてない。滋賀県の魅力は、文化財的価値並びに自然的価値。いずれも全国第3位。（日経調べ）。こんなバランスの取れた都道府県はない。それは、いずれもびわ湖が県のど真ん中に位置している、地形的にも歴史的にも、大きな構成要素になっている。事実をしっかり意識して、産業振興施策を一から洗いなおすべきかと。と思いますが。

・産業振興といっても幅が広いと思いますが、特に滋賀県の強みは、琵琶湖や歴史的建造物などを持っていることだと思います。琵琶湖由来の食品を使った製品や、滋賀県産物を使った特産品の生産、それらの品を県内のみではなく、全国的に普及するような商品開発をしてほしい。滋賀の知名度は低いので、そういった特徴的な商品の普及により、全国、そして海外へ広め、観光客を呼びこみ、滋賀での消費を拡大させることが可能だと思います。また、京都、大阪、名古屋などへのアクセスの便も良いので、民泊や外国語ができる地域住民（若い世代ではなく、年配のかたも）を育成する必要があると思います。

・私は、県庁所在地、大津市に住んでいるが、あまり活気がない。魅力ある商業施設がほとんどないのが最大の原因だと思う。県内でも、他の市では大型商業施設を誘致し、大津市よりも活気があるところがある。それにより街全体の活性化につながっている。まずは、滋賀県の玄関口、県庁所在地大津市に活気を取り戻し、滋賀県全体に波及させてほしい。